

令和 4 年度 県立坂東清風高等学校自己評価表

目指す学校像	1 普通教育・専門教育を通して、確かな学力を育み、未来を創造する力を持った人材を育成する学校 2 個に応じた学習を通し、高い専門性と実践力を培い、社会において生きる力を備えた人材を育成する学校 3 地域との連携・交流を通して、地域愛・協働する力を育み、地域のニーズに応え郷土の発展に貢献できる人材を育成する学校			
昨年度の成果と課題		重 点 項 目	重 点 目 標	達成状況
岩井高校と坂東総合高校の歴史と伝統を継承し、坂東清風高校が開校した。 学習面では、基礎学力の定着を図り、少人数での授業展開や学習意欲の向上に向け I C T を活用した授業展開を図っている。 特別活動では、生徒が積極的に参加できる学校行事を通して、生徒の自主性が発揮され、学校への帰属意識が育まれてきている。部活動においては、少しずつではあるが、部活動加入者が増え、学校の活性化にもつながっている。 地域で信頼される学校づくりを目指し、ホームページの充実、「清風通信」「Let's坂東清風」の発行や定期的な中学校訪問等、積極的な情報発信を行ってきたが、募集定員確保には至っていない。近隣の中学校においては卒業生徒数の減少はあるが、本年度は昨年度以上に学校説明会や広報活動の中で、本校の特色である総合学科・農と食科の情報発信に努め、本校の良さを理解してもらえるよう努力し、地元坂東市及び近隣の市からの志願者数の増加を目指したい。	ア 個に応じた学習指導を通した基礎学力の向上を目指す	① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。 ② 観点別学習状況の評価の浸透を図る。 ③ I C T を活用し、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図る。 ④ 各種検定試験の合格者を増加させる。 ⑤ 相互授業参観や中学校の授業参観等の取り組みを通して、学習指導の工夫・改善を図る。	B	
	イ 個に応じた進路指導の実践によるキャリア教育の充実	⑥ 職業観・勤労観を形成し、自己目標を明確化させるため、個別面談の充実を図る。 ⑦ キャリアカウンセリングや地域と連携したインターンシップ等の体験的活動により、生徒の進路意識を高める。 ⑧ 基礎力の定着や学習能力の向上を図るため、課外体制の充実に努める。 ⑨ 資格取得など特色を生かす教育課程の充実を図る。 ⑩ 生徒・保護者への情報提供や参加型の行事の充実を図り、進路意識を高める。	B	
	ウ 人間性・社会性を養う教育活動の展開	⑪ 学校生活を通し、自らを律するとともに、他者との協調性を培う。 ⑫ 学校行事や部活動など様々な場面で、自己有用感や自己肯定感を高め、母校愛を育成する。 ⑬ 各種講演会や面談を通し、生徒の自己理解・自己指導能力を育成し、事故等の未然防止に努める。 ⑭ 地域や社会の行事に積極的に参加し、地域社会に貢献する意識を育てる。	B	
	エ 特別活動・広報活動の活性化	⑮ 生徒が主体的・積極的に参加できる学校行事を企画・運営する。 ⑯ 各部活動の加入率を高める。 ⑰ ホームページや学校説明会を充実させ、本校の教育活動を学校内外に積極的に発信する。 ⑱ 定期的に中学校訪問を行い、中学校との連携を深め、志願者の増加に努める。 ⑲ キャリア・パスポートを活用し、生徒の自己理解の深化に努める。	B	
	オ 働き方改革の推進	⑳ 業務内容の整理や情報の共有、OA機器の活用などを通して、校務の効率化に努める。 ㉑ 「きんむくん」の活用などを通し、職員一人一人の働き方についての意識を高め、健康と安全を確保する。 ㉒ 部活動において週当たり 1 日以上 の休養日を設けるなど、職員の時間外勤務の縮減に努める。	A	

三つの方針		具体的目標			
「三つの方針」 (スクールポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	確かな学力を育み、未来を創造できる人材の育成 地域と連携・交流を通して、地域愛を育み、地域のニーズに応え郷土の発展に貢献できる人材の育成			
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	自ら課題を見つけ、それを解決しようとする過程においての生きる力の育成 キャリア教育の充実を図り、個の希望に応じて大学進学から就職までの多様な進路希望の実現			
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	人文、自然、情報ビジネス、ライフデザイン、農業の各分野に興味を持ち、進路実現のために努力する生徒 学校や社会の規範を守り、学校行事や部活動に積極的に取り組むことのできる生徒			
評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題
教科	国語	国語の基本的な知識や技能の定着および向上を図る	生徒の興味・関心を引く授業を展開するため、ＩＣＴの活用や効果的な言語活動などを積極的に取り入れ、評価と一体化した指導内容になるよう工夫する。ア②③	A	・授業の到達度を生徒に明確に示す等評価と一体化した指導の工夫 ・生徒の実態に即した教材の精選およびルーブリック等を用いた学習評価の実践 ・各種検定試験への意欲喚起
			小テスト等を有効に活用し、習熟度に応じた学習課題などを与えることできめ細かな指導の推進を図る。ア②	A	
		生徒の実態を踏まえ、わかりやすい授業を展開する	生徒に身に付けさせたい能力を活用できる題材を精選し、到達度を明確にした授業づくりに努める。ア①②	B	
			基礎学力の確実な定着を図るとともに、個々の学力に応じた目標を設定する。ア①	B	
	地歴・公民	生徒の進路実現のために必要な国語力の定着を図る	課外の実施や各種検定試験等の受験を推進することで、各種検定試験や上級学校への進学に対応できる程度の学力の向上を図る。ア④イ⑧⑨	A	・教科学習の前提として、基礎学力の確保を図っていく必要がある。 ・学習指導要領の趣旨を踏まえながら、生徒の実態に即した授業をどのように展開していくかということについて、きちんと吟味していかなければならない。
			生徒に対する行動観察や生徒自身の自己評価・相互評価により、「学習を調整しようとする態度」を評価する。ア①②	B	
		社会的な見方・考え方を重視した授業を構築する	協同学習・発表・レポート等を通じ、獲得した知識・技能を活用できているかを評価するとともに、その結果を授業改善にフィードバックする。ア①②ウ⑭	A	
			社会的な見方・考え方を働かせるために、発問を吟味する。ア①	A	
		獲得した知識の活用を図る	既学習事項や他教科との関連性を意識しながら、見方・考え方に沿って、知識の構造化を図る。ア①	B	
			獲得した概念や理論を用いて、時事問題について課題追究的に考察させる。ア①ウ⑩	B	
	数学	基礎学力の向上を図る	接続詞の使い方に留意しながら、獲得した知識を文章で言語化させる。ア①イ⑥	A	・タブレット端末を取り入れた授業の展開を模索する。 ・グループワーク等協同的な学習を行い、学び合いを実践し生徒の主体性を大切にした授業を展開する。 ・基本的な知識・技能の定着を図る。
			「生徒の主体性」を大切にするため、板書、発問の仕方、電子黒板・タブレットの活用、課題プリントなどを工夫する。ア①③	B	
		問題を解く力を養う	放課後や長期休業中の補習を活用し、理解の十分でない生徒への知識の定着を図る。ア③イ⑧	A	
			生徒の学力に応じた適切な問題を選択し、放課後課外等を活用し演習させる。ア①イ⑧	A	
		授業時の理解度を把握する	問題演習時間を十分に確保し、生徒間の教え合いを促し、やる気を喚起する指導を行う。ア①③	B	
			机間指導や問題集・ノートなどの点検、授業後の自己評価により理解度の把握に努める。ア①②	A	
	理科	理科への興味・関心の高揚と基礎学力の向上を図る	小テストや課題等を利用して生徒の学習状況を把握する。ア①②	A	・観察、実験を積極的に授業に取り入れる。 ・適切な観点別評価の方法の確立を進める。
			ＩＣＴの活用や、板書や教材の工夫により、理科への興味・関心を高める。ア③⑤	A	
			授業中に小テストや振り返りを行い、繰り返し学習することで知識の定着を図る。ア③	A	

教科	科	主体的・対話的で深い学びの実現のため、指導内容の改善を行う	生徒の学習意欲の向上のため、意見交換やICTを活用した意見集約など、言語活動の充実を図る。 ア①③	B	B	・指導と評価の一体化に即し授業の工夫・改善を更に進める。
		観点別評価の更なる推進に努める	観察・実験を計画的に実施し、科学的な見方や考え方を身につけさせる。ア①③イ⑨ 教科内の評価方法の共通理解を図り、生徒の実態に応じた適切な評価を行う。ア②	B C		
			指導と評価の一体化による授業改善や生徒の意欲向上を図る。ア①②	B		
	保健体育	単元計画目標を明確に提示し、生徒の実態に応じた授業を展開する	単元ごとの具体的な目標を提示し授業を展開する。ア①	A	A	・体育での一人一人の活動時間の確保 ・3クラス同時展開時の授業工夫 ・生涯を通じて自らの健康を管理することができる能力の育成
			視聴覚教材を有効活用する。ア②③	B		
			運動能力の把握と個に応じた指導を充実させる。ア①⑤	A		
		時間や約束事の厳守、活動時間の確保と授業内容の充実を図る	授業開始時間を守らせる。ウ⑩	A		
			挨拶の励行、運動に適した服装や態度を身につけさせる。ウ⑩	A		
			種目ごとのルールを理解させる。ウ⑩	B		
	芸術	基礎的・基本的な技能の習得を図る	授業後のうがい、手洗い、消毒等、健康面や衛生面について指導する。ウ⑩	A	B	・基礎基本の定着、作品への応用力を養う指導の工夫 ・タブレットを活用し、指導の個別最適化を目指す。
			運動と休養をうまく組み合わせ、健康を保持増進する能力を高めさせる。ウ⑩	B		
			基礎的・基本的な練習課題を充実させ、作品に取り入れられるようにする。ア③	B		
		のびのびとした表現活動ができるようにする	机間指導を行い、生徒の理解度を把握し、適切な助言指導を行う。ア①	A		
			生徒の実態に即した教材の精選と教材研究に努め、授業の展開方法を工夫する。ア①⑤	B		
			生徒間の学び合い・話し合い活動の場を設定し、表現の仕方を深める。ア①	A		
	外国語	ICTを活用し、学習活動の充実を図る	パワーポイントを活用し学習内容の焦点化を図り、生徒の活動意欲を高める。ア③	A	A	・基礎力の定着を応用できる学習に結びつけることを目標とする。 ・英語検定合格に向けてのきめ細やかな指導支援 ・生徒の実態に応じた学習内容の検討や進学希望に向けた指導の充実
			タブレットを活用し、学習進度にあった視聴覚教材を充実させ、わかる授業につなげる。ア③	B		
			基礎学力の向上を図る	A		
		家庭学習の習慣を身につけさせる	生徒一人一人の理解度に応じて細部まで指導が行き渡る授業を実践する。ア①⑤	B		
			パフォーマンステスト等の活用・課外の充実等により、英語の基礎力の定着と、検定試験や上級学校への進学に対応できる学力の向上を図る。ア②④イ⑧⑨	A		
			同じ科目や学年担当教員との連携が取れるように定期的に話し合いの場を設け、授業内容や進度について意見交換をする。ア①⑤	A		
	家庭	授業を通して英語や日本語でコミュニケーションをとる喜びを実感させ、コミュニケーションの素地を作る	定期的に課題を提示し、回収点検をする。また、生徒全員が期限を守って提出するように指導徹底する。ア②③	A	A	・教科の基礎的、基本的な知識・技能の習得 ・検定合格に向けての支援 ・生徒の実態に合わせた教材、学習活動の検討 ・ICT機器の効果的な活用
			長期休業中に課題を課し、検定試験合格や大学進学のための基礎作りを行う。ア③④イ⑧⑨	A		
			ALTとのチームティーチング等を通して、生徒が英語圏の文化に興味関心を持つような授業を展開できるように工夫する。また、表現活動を充実させて、自分たちの英語が通じることを実感させる。ア①②③	A		
		生活に必要な基礎的・基本的な知識技術を習得させる	グループ学習やペア学習を導入することによって、「協働的な学び」の喜びを実感させる。ア①②	B		
			パワーポイントやDVDなど視聴覚教材を使い、生徒の興味関心を高める工夫をする。ア③	A		
			日常生活に関わる基礎的・基本的知識や技術を習得させるため、生徒の実態に合わせた授業内容・学習活動を検討する。ア①	A		
	家庭	実験実習を取り入れたわかりやすい授業を展開する	各種検定の内容を実技指導に盛り込むことで、検定の受検意欲を高める。ア④イ⑨	A	A	・教科の基礎的、基本的な知識・技能の習得 ・検定合格に向けての支援 ・生徒の実態に合わせた教材、学習活動の検討 ・ICT機器の効果的な活用
			電子黒板・タブレット等のICTを活用し、興味関心を深めると共に理解しやすい指導に努める。ア①③	B		
			実験実習の指導に実技テストを導入し、実技の習得向上を目指す。ア③	B		
		家庭生活の充実向上を図るための指導を工夫する	生徒が興味をもって取り組めるワークシートを検討し、工夫改善をする。ア①	A		
			ホームプロジェクトの実施により、生活分野における実践力の向上に努める。ア①	A		
			研修会や講習会に参加し、学んだことを生徒への指導に生かす。ア①	B		

教科	情報	ソフトの基本操作を身につけさせる	文書作成ソフト・表計算ソフトについて基本的な知識・技能を習得させる。ア①② I C Tを活用し、活動的な学習を取り入れ、学習意欲の向上を図る。ア③	A	A	・ICTに関する基本的な知識の習得と定着 ・ICTを用いて行う授業の工夫 ・教員側の知識の習得
		情報を活用するための工夫をする	情報機器の種類と特徴を指導する。ア① 個別実習を通して生徒が主体的に情報機器を活用できるようにする。ア①	B A		
		情報社会について理解を深め、情報モラルを身につける	インターネットやSNSの活用方法や情報を共有する決まりを指導する。ア①⑤イ⑥	A		
			ネットワーク社会のルールとマナー、情報モラル等を具体例を用いて指導する。ア①⑤	A		
	農業	勤労の尊さを自覚させ、働く喜びを体得させる	様々な体験を通し、望ましい勤労観・職業観を養成し、働く喜びを体得させる。イ⑦ウ⑩	B	A	・様々な実習・体験を通して職業観の養成 ・基礎的、基本的な知識と技能の習得の定着 ・ICTを用いた授業を農場内でも積極的な活用
		特色ある施設・設備を生かし、実験実習の充実を図る	生徒一人一人の能力に応じた授業を展開し、興味関心を高める。ア①⑨	A		
		各専門教科を通し、生徒が自ら資格取得に取り組むことができる意欲を育てる	各専門授業において関連する資格への興味関心を育て、受験意欲を育てる。ア④	A		
		農業クラブ活動の充実を目指し、様々な場面で活躍できる生徒を育てる	各教科・科目において自ら課題を持ち、課題解決のための基礎的・基本的な知識と技能を習得することにより、自ら学ぶという姿勢を身につけさせる。ア①③⑤ウ⑪⑫エ⑮	A		
	商業	基礎的・基本的な知識、技術および技能を身につける	ビジネス活動を円滑に行うため、帳簿の必要性を理解させ、帳簿の記録・計算・作成を習得させる。ア①②③イ⑧ アプリケーションソフトの基本操作を習得させる。ア③	B	B	・基礎的な知識を基に、ビジネスの諸活動に生かせるよう主体的な学びへの連動 ・生徒の理解が高まるよう、ICTを用いた授業の改善・工夫
		資格取得や有用な各種検定をととして、知識、技術および技能を定着させる	資格取得に意欲を持たせ、主体的で意欲的な学習を定着させる。 ア④イ⑧⑨	B		
		ビジネス活動で必要とされる能力と態度を身につけさせる	ビジネスの諸活動に広く関心を持たせ、その意義や役割の理解を深め、主体的に学習に取り組めるよう望ましい心構えや態度を身に付けさせる。ア①	B		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題
教務	円滑な学校運営に努める	各学年、校務分掌、教科と連携を密にし、円滑な学校運営に努める。	A	・校内での取り組みについて情報発信の方法の工夫
	授業の改善や観点別学習状況評価の浸透を図る	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解を深めると共に、I C Tを活用した指導方法の推進・環境整備を支援する。ア①③	B	
	授業時間の確保に努める	授業終始時間の厳守に努める。ウ⑪ 職員の出張・年休の際は振替を100%行い、授業時間の確保に努める。	A A	
	広報活動の充実を図る	学校新聞の発行やホームページの更新など、生徒の活動を地域に発信する。エ⑰ 定期的に中学校訪問を行い、学校の情報提供を充実させる。エ⑱	A B	
	成績管理等システム化の推進	職員が円滑に成績処理等が行えるよう校内の情報機器を管理する。	A	
	情報セキュリティ対策の推進	個人情報の保護を念頭に入れた情報機器の使用について、職員の危機管理意識の高揚を図る。 職員のセキュリティ対策に関する手順や規定の周知を徹底する。	B A	
	場面に応じた対応ができる生徒の育成	登校指導を含め、普段から生徒に積極的に声をかけていく場面を増やす。ウ⑪⑫ 校内外での生徒の服装・態度について、社会通念上妥当なレベルを維持できるよう指導する。ウ⑪⑫ チャイム着席の徹底。ウ⑪ 丁寧な言葉遣いができるよう指導する。ウ⑪ 集会等の全体行動をととして自主性・自律性を育てる。ウ⑪⑫⑬	B B B B B	・場に応じた適切な言葉遣いを身につけさせる指導 ・遅刻者を減らすための具体的方策

生徒指導	交通安全指導の充実	自転車通学者の安全意識を高める。ウ⑪⑬	B	B	- 問題行動の未然防止のための具体的方策の実施 - LHR等を活用した生徒指導関連行事の積極的な実施 - スクールカウンセラーによるカウンセリング以外での教育相談の実施
		バイク通学者に対して実技指導を実施する。ウ⑪⑬	B		
	問題行動の予防	各種巡回指導を実施する。ウ⑪	A		
		交通安全講話、薬物乱用防止講話、スマホ安全利用教室等の各種講話を実施する。ウ⑪⑬	A		
	いじめの未然防止、早期発見、早期解消	自主的行動を意識させ、生徒自身が律する能力を高める。ウ⑪	B		
		「いじめはすべての学校に起こりうる」という認識で、日々の教育活動の中で注視していく。ウ⑪	A		
		当事者およびその保護者に適切に対応し、早急にいじめ状態を解消に努める。ウ⑪	A		
進路指導	関係機関との連携	保護者との連絡を密にするとともに、必要に応じ警察等の専門機関にも相談する。ウ⑬	A	A	- 生徒の学習意欲を喚起し、それぞれが希望する進路への適切な支援の充実。 3年間を見通した効果的なかつ計画的なキャリア教育体制の確立 - それぞれの進路希望にあった、早期支援のあり方の確立 - 資格取得の積極的な推進
		生徒指導関連研修の充実	A		
		教育相談の充実	A		
		進路意識及び学力の向上	A		
	個々の進路希望に応じた指導の充実	進路希望調査、進路適性検査や個別面談を実施し、自己理解と進路意識の向上を図る。イ⑥⑦	A		
		進路の情報を収集し、適切な情報提供を行い、進路相談を充実させる。イ⑥⑩	A		
		進学希望者は、課外への参加や外部模試や各種検定試験を積極的に受験し、受験勉強に取り組ませる。ア④イ⑧⑨	A		
		各種模擬試験の効果的な実施、および課外指導を充実させることで、継続的に学力の向上に努めるようにする。イ⑧	B		
		生徒の適性や進路希望に基づいた計画的、組織的な進路ガイダンスを実施する。イ⑥⑦⑧	A		
	より良い進路選択のための、教職員・生徒および保護者との連携の強化	インターンシップ等の地域と連携した活動により、主体的な職業選択ができるよう支援する。イ⑦	A		
		入社試験・入学試験の際に求められる、コミュニケーション能力や人間性・社会性を養うため、模擬面接や個別指導を行う。イ⑥	A		
		生徒一人ひとりを大切にしたい個別指導を図り、望ましい進路選択の手助けをする。イ⑥⑦	A		
		就職内定率100%および志望校への進学を達成させ、外部へ情報を発信する。イ⑩	B		
		P T A総会、面談や進路説明会等、あらゆる機会を通して進路情報を発信し、保護者への啓発を図り、進路実現に向け理解と協力を得られる体制を整える。イ⑩	A		
保健厚生	健康に関する自己管理意識の向上	教員対象の大学説明会や研修等へ積極的な参加を促し、進路情報の共有と教員のモチベーションを高めて生徒に還元する。イ⑩	B		
		各種検診等を通して、自らの健康の維持増進に関する自己管理意識を高める。ウ⑬	A		
	校内の環境整備と清掃活動の充実	定期的に修繕箇所点検を実施する。	A		A
		清掃用具の在庫確認と各清掃区域の用具を整備する。	A		
		大掃除やクリーンプロジェクト等の機会を利用し、清掃活動の充実を図る。ウ⑬	A		
	防火・防災訓練	具体的なマニュアルを作成し、非常時に対応できる訓練を実施する。エ⑮	A		
	保健・厚生委員会の活発化	学校行事での保健活動、各種統計処理、保健意識の啓発、各種健康学習の推進（保健）エ⑮	A		
		環境整備活動への協力、E C O活動の推進（厚生）エ⑮	A		
特別活動	生徒一人ひとりが生き生きとした学校となるための学校行事の創造	生徒が積極的に参加できる学校行事を企画、運営をする。エ⑮	A	A	- 生徒が意欲的に参加できるような学校行事の工夫 - 生徒会役員が主体的に活動できるような体制作り - 部活動活性化と部活動加入率アップ
		学校行事を通して、集団への所属感やクラスの連帯感が深められるよう支援する。ウ⑪⑫	A		
		生徒が成就感・達成感を得られるよう学校行事を工夫する。ウ⑫ エ⑮	A		
	生徒会活動の活発化	本部役員に「生徒による自治」を意識させ、自覚と責任を持たせることにより主体的に活動できるようにする。エ⑮	A		
		「各クラスでの話し合い→委員会→生徒会行事」という形を確立する。エ⑮ 生徒の自主的・自発的な活動を支援する。エ⑮	A		

	部活動の活性化	部員に対し、技術・生活・学習面での指導を徹底し、生徒との信頼関係を深める。エ⑮⑯ 部活動紹介、体験入部の充実を図り、部活動の加入率を40%以上にする。エ⑯	B	
	生徒が主体的に自己理解を深める	学年行事やホームルーム等を通して、生徒自身が主体的に学んだことを振り返りながら、自己評価を行い自己理解を深める。エ⑳	B	
図書	図書館利用の推進	生徒や職員から購入希望の本を調査し、良書を選定する。エ⑰	A	A
		図書委員会の活動と新着本の情報を随時、ホームページで更新する。エ⑰	A	
		季節に合わせて館内を飾ったり特集を組むなどして、明るく居心地の良い図書館をめざす。エ⑰	A	
	図書部主催の文化的行事の充実	生徒や職員が楽しめるように、芸術鑑賞会の演目や文学散歩の行き先などを吟味する。エ⑮	A	
		図書委員が広報紙『ポプラ』を行事毎に発行できるように、係職員が指導する。エ⑰	A	
		図書委員会の活動を活性化させ、責任感があり自主的に行動できる生徒を育てる。ウ⑪	B	
	視聴覚機器・資料の充実と有効利用	HRや授業で使えるDVDを選定し、有効活用を進める。ア③ 視聴覚機器の保守と整備を充実させる。ア①③	B B	
渉外	PTA活動の活性化	コロナ禍において、保護者来校のもとにPTA総会を開催することができるよう調整し、PTA総会を実施する。ウ⑫	A	B
		本部役員を中心に会員全体が協力し、充実したPTA活動の実施に努める。ウ⑫	B	
	広報活動の充実	PTA会報を発行し、学校概況や全国高P連などの活動状況を発信する。エ⑰	A	
		ホームページにPTAのページを作成し、PTA活動の情報を発信する。エ⑰	B	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題
第1学年	基礎学力の向上と進路希望決定に向けての支援に努める	チャイム着席と授業準備を徹底し授業に積極的に参加する態度を育成する。ア①ウ⑪	A	<学習面> ・学習意欲の向上 ・進学希望者へ個別指導 ・各種資格試験受験者の増加 ・ICTを活用した家庭学習の習慣化と更なる活用の研究 <生活習慣> ・制服着用の徹底 ・SNS等の正しい使い方など情報リテラシーの指導 ・私物の管理と整理整頓 <進路指導> ・探究活動の内容の充実 ・進路実現に向けた具体的な取り組みの明確化
		中学校内容の学び直しを意識し、基礎学力向上のための支援を行う。ア②	B	
		「産業社会と人間」や進路活動を通して、生徒の適性と進路希望に添った指導に努める。イ⑥⑩	A	
	教室内外の環境整備に努める	清掃の徹底を図る。ウ⑪	B	
		教室内の生徒私物の管理を徹底させる。ウ⑪	B	
		公共の場での振る舞いや公共物を大切にする心の育成に努める。ウ⑪	B	
	基本的生活習慣の確立を図る	自らを律する力を意識させることで、場面に応じて適切に対応できる能力を育てる。ウ⑪⑬	A	
		挨拶の励行に努める。ウ⑪	B	
		時間を守る態度を育てる。ウ⑪	A	
		常に制服を正規着用できるよう声かけをしていく。ウ⑪	B	
	人間性・社会性を養う教育活動の充実を図る	学校行事や部活動に積極的に参加し、自らを律し他者と協調して共に成長する連帯感を養う。ウ⑫エ⑯	B	
		言葉遣い、問いかけに対する誠実な返答等の礼儀指導に努める。ウ⑪	B	
		他者への思いやりの心を育てる。ウ⑪⑬	A	
		自己指導能力を高めさせ、正しい判断のもと、適切な行動がとれるよう働きかけるウ⑪⑬	B	
第2学年	基礎学力の向上と進路希望決定に向けての支援に努める	チャイム着席と授業準備を徹底し、授業に積極的に参加する態度を育成する。ア①ウ⑪	B	<学習面> ・基礎学力の向上 <生活習慣> ・身だしなみに関する指導について、学年での共通理解、共通実践
		基礎学力向上のための支援を行う。ア③	A	
		生徒の適性と進路希望に添った指導に努める。イ⑥⑦	A	
	教室内外の環境整備に努める	清掃の徹底を図る。ウ⑪	B	
		私物管理の徹底を図る。ウ⑪	C	
		公共の場での振る舞いや公共物を大切にする心の育成に努める。ウ⑪⑬	B	

学 年	基本的生活習慣の確立を図る	挨拶の励行に努める。ウ⑪	A	B	・私物、貴重品管理の徹底 ＜進路指導＞ ・進路希望の未確定に対し、 進路意識の高揚
		時間を守る態度を育成する。ウ⑪	A		
		制服を正規着用できるよう、日頃から声かけをする。ウ⑪	B		
	人間性・社会性を養う教育活動 の充実を図る	素直な心の育成並びに場面に応じた適切な行動ができるよう支援する。ウ⑪⑬	A		
		学校行事や修学旅行など様々な場面で、自らを律しながら他者と協調できるよう支援する。ウ⑪⑫	A		
第 3 学 年	基礎学力の向上と進路実現に向 けた支援	進路ガイダンスやインターンシップ等を通して、進路意識の高揚を図る。イ⑦	A		
		チャイム着席と授業準備を徹底し、主体的に授業に取り組む態度を育成する。ア①③ウ⑪	B		
		I C Tを活用した授業改善に務め、授業に積極的に参加する態度を育成する。ア①③			
		各種検定試験の受験者並びに合格者の増加を目指す。イ⑨ウ④			
	基本的な生活習慣の確立	進学・公務員希望者のための情報提供や学習支援に努める。イ⑩			
		T P Oに合わせた挨拶や言葉遣い等を身につけることができるよう支援する。ウ⑪⑫⑬	B		
	教室内外の環境整備	制服を正規着用できるよう、日頃から声かけを実践する。ウ⑪	B		
		清掃の徹底を図り、教室内外の環境整備に努める。ウ⑪	B		
	人間性・社会性を養う教育活 動の充実	ロッカーを有効に活用し、私物管理の徹底を図る。ウ⑪	B	B	＜学習面＞ ・学習意欲の向上 ・授業準備の徹底 ＜生活習慣＞ ・制服着用の徹底 ・朝のS H Rの時間厳守 ・移動教室での時間厳守 ＜進路指導＞ ・2 学年から3 学年に向けた 継続的・計画的な進路指導 ・要録、調査書等の情報共有 や整合性
		素直な心の育成や場面に応じた適切な行動を実践できるよう支援する。ウ⑬	A		
年	個に応じた進路希望の実現	学校生活、学校行事等を通して、自らを律するとともに、他者との協調性を育成する。ウ⑪⑫	B		
		総合的な探究の時間、L H R、学校行事の中で、進路に関するセミナーやキャリアカウンセリング等 を計画し、情報提供や進路意識の高揚を図る。イ⑦エ⑩	A		
		就職希望者の内定率100%、進学希望者の合格率100%の実現を目指す。イ⑥⑦⑩	A		
		個別面談の充実を図り、個に応じた進路指導を実践する。イ⑥⑩	A		

※評価基準

上記具体的方策についてA、B、C、Dの4段階評価を行う。

A 達成されている

B ほぼ達成されている

C あまり達成されていない

D 達成されていない